

柏市次世代育成支援後期行動計画

進行管理票

(平成 2 4 年度実績)

- 重点 1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援・・・No. 1 ～ 7
- 重点 2 保育環境の整備と待機児童の解消・・・・・・・・・・No. 8 ～ 1 7
- 重点 3 配慮が必要な児童・保護者への支援・・・・・・・・・・No. 1 8 ～ 2 9
- 重点 4 子どもの安全の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・No. 3 0 ～ 3 6
- 重点 5 市民との協働による計画推進と情報提供・・・・・・No. 3 7 ～ 4 1

※進行管理票は、柏市次世代育成支援後期行動計画における目標事業量
対象事業（本計画 P 9 2 ～ 9 6）を掲載しております。

目標事業量対象事業一覧

重点プロジェクト	No.	事業名	担当課
重点1 子どもの居場所づくりと 子どもの成長支援	1	児童センター運営事業	児童センター
	2	児童センターの整備事業	児童育成課
	3	地域子育て支援センター事業	保育課
	4	子育て広場事業	児童センター
	5	子育てサロンの拡充	柏市社会福祉協議会
	6	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課
	7	青少年の居場所づくり事業	児童センター
重点2 保育環境の整備と 待機児童の解消	8	通常保育事業・延長保育事業	保育課
	9	駅前認証保育施設事業	保育課
	10	預かり保育事業（幼稚園）	児童育成課
	11	一時保育の充実	保育課
	12	休日保育事業	保育課
	13	乳幼児健康支援一時預かり（病児・病後児保育）	保育課
	14	ファミリー・サポート・センター事業	児童育成課
	15	保育施設の指導監査	指導監査室
	15	保育施設の指導監査	保育課
	16	子育て短期支援事業（ショートステイ・田ワイライトステイ）	児童育成課
	17	こどもルーム（学童保育）の全小学校区整備	こどもルーム担当室
重点3 配慮が必要な 児童・保護者への支援	18	子育てワークショップの実施	児童センター
	19	ひとり親等就業資格等取得助成	児童育成課
	20	母子家庭自立支援プログラム策定事業	児童育成課
	21	こども発達センターの開設	こども発達センター
	22	のびのび相談（乳幼児専門相談）	地域健康づくり課
	23	発達支援相談	地域健康づくり課
	24	発達（継続）相談	地域健康づくり課
	25	親子教室（かんがるー広場）	地域健康づくり課
	26	1歳6か月児健康診査事後指導（ひよこルーム）	地域健康づくり課
	27	地域療育支援	こども発達センター
	27	地域療育支援	保育課
	28	日中一時支援事業	障害福祉課
	29	日本語指導者派遣事業	指導課
重点4 子どもの安全の確保	30	登下校の安全対策（スクールガード）	学校企画室
	31	安全安心まちづくり推進事業（エンジョイ・パトロール）	防災安全課
	32	犯罪防止を考慮した公園の設計管理	公園管理課
	33	交通安全教室の実施	交通施設課
	34	補導活動事業	少年補導センター
	35	情報収集活動（プロフや裏サイトのチェック活動）	少年補導センター
	36	家庭内の事故を未然に防ぐための啓発活動の展開（子育てセミナー開催）	地域支援課
	36	家庭内の事故を未然に防ぐための啓発活動の展開（母と子のつどい）	地域健康づくり課
	36	家庭内の事故を未然に防ぐための啓発活動の展開（子育て広場事業（再掲））	児童センター
重点5 市民との協働による 計画推進と情報提供	37	子育てに優しいまちづくりワークショップ	児童育成課
	38	庁内関係各課による計画の進行管理	こども政策室
	39	審議会による計画の進行管理	こども政策室
	40	市民提案を受け止め支援する体制整備	こども政策室
	41	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供 ＜子育て情報誌（かしわこそだてハンドブック） による情報提供＞	児童育成課
	41	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供 ＜「マッブルブル」等の発行＞	地域健康づくり課
	41	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供 ＜子育てサポートかしわの発行＞	保育課
	41	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供 ＜柏市子育てサイトによる情報提供＞	児童育成課
	41	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供 ＜こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事 業）＞	地域健康づくり課

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	児童センター運営事業	掲載ページ	26
		担当課	児童センター
		No.	1
事業内容	児童センターの活動を充実し、遊び場の提供、各種体験活動、保護者向け子育て講演会、子育て相談活動、ボランティア育成活動など幅広く、子育て、子育てを支援していきます。また、地域住民を交えた運営委員会を組織し、子どもフェスタ、児童センターまつり、ミュージカル事業などを通じて、市民との協働を進めていきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(5)地域のなかで子どもが育つ環境の整備(居場所づくり)	
	中番号		
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	
	取り組み	児童センターの新設と各児童センターの有効活用	
		公共施設等を有効に活用した子どもの居場所づくり	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	113,000人	145,000人	年間利用人数
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	子育ての保護者に対しての様々な子育て支援事業、子どもの発達年齢に見合った事業を実施した。年間利用人数は118,467人、事業は7センターで1,104事業、延べ24,747名の参加者があった。 また、運営委員会や地域のかた、健全育成団体、青少年ボランティアなどの協働での事業を実施した。各センターに運営委員会組織があるわけではないので、各センターで定着した団体や地域との連携を深められたらよいと思う。		
担当課 自己評価	4	乳幼児親子対象の事業に関しては充実しているが、青少年対象の事業がまだ不十分である	
市民との協働	有	運営委員、実行委員、社会福祉協議会、青少年協議会他、市民との協働を実施している	
市民アンケート・意見の聴取	有	事業を実施するたびに関わって下さったかたにアンケートをとり、次年度に反映できるようにしている	
関係部署との連携	有	防災安全課、廃棄物政策課との連携事業	
障害者・外国人等への配慮	有	障害をもつ子供が参加できるように事業を企画、実施している	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	あそぶ、つくる、宿泊、表現、おはなし会、学ぶ、防災体験、ボランティア体験などの事業を、地域の子どもの健全育成と子育て支援の拠点として、親子、子どもたちに企画、実施する。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	児童センターの整備事業	掲載ページ	27
		担当課	児童育成課
		No.	2
事業内容	児童センター事業の充実を図るため、地域子育て支援の拠点となる児童センターを3つのゾーン(北部・中央・南部)ごとに整備していきます。 中央ゾーンの拠点として整備した「しこだ児童センター」に続き、南部ゾーンにも児童センターを整備していきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(5)地域のなかで子どもが育つ環境の整備(居場所づくり)	
	中番号		
	小番号	④	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	
	取り組み	児童センターの新設と各児童センターの有効活用	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	新設1か所	
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	平成24年度は、これまでの児童センター(児童(18歳未満の者)に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする屋内の児童厚生施設)のあり方について、①乳幼児(就学前の児童)及びその保護者を対象とした地域子育て支援拠点としての機能と、②就学後の児童・生徒の居場所としての機能に分けて検討を行った。①の機能について、特に平成27年4月施行の子ども・子育て支援に関する新制度導入に向けて重点を置いたあり方を検討している。		
担当課 自己評価	1	当初の予定は実施することができなかった。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	—		
関係部署との連携	—		
障害者・外国人等への配慮	—		
4. 平成25年度の実施内容			
内容	平成24年度に引き続き、子ども・子育て支援に関する新制度への移行、地域における既存の社会資源の活用、国の補助金の活用を念頭に、就学後の児童・生徒の居場所のあり方を含めた市全体の子育て支援のあり方を検討していく。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	地域子育て支援センター事業	掲載ページ	16
		担当課	保育課
		No.	3
事業内容	保育園等において、保育士による子育て相談、子育てサークル等への支援、情報提供、育児講座の実施などにより子育て家庭への支援を行います。今後は、施設内だけではなく、地域の公園や公共施設などに出向いていく出前型の支援も行います。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(2)相談体制の充実と構築	
	中番号	ア 相談窓口の充実	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	保育施設による地域支援機能の充実強化	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
7か所	9か所	18か所	
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	・平成24年度は計19か所で地域子育て支援センターを開設することができ、多くの保護者のつながりと学びの場となっている。 ・平成23年度は6か月ごとに実績をとりまとめていたが、平成24年度は3か月実績をとりまとめ、利用状況のこまめなチェックを行った。子育て支援センターの質や、利用者数のばらつきがでないよう、定期的に視察を行い、指導をしていく必要がある。		
担当課 自己評価	4	後期計画最終年度の目標であった18か所の開設を上回ることができた。	
市民との協働	無		
市民アンケート・意見の聴取	有	行事や新しい取り組みの後などにアンケートをとり、一方通行の支援にならないように意見を参考にした。	
関係部署との連携	有	情報誌「広報かしわ」・「マップルブル」及び、柏市子育て支援サイト「はぐはぐ柏」への情報掲載依頼をしてPRを行った。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者・外国人でも楽しめるよう、その場に応じてサポートをしている。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	・公立の支援センターの利用申し込み方法について、従来のハガキでの申し込みから、より利用者の負担のない方法へ改善していきたい。 ・各支援センターの定期的な視察及び指導を予定している。 ・各支援センターの利用状況に加え、収支状況についても、より詳細な報告を求める。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育て広場事業	掲載ページ	20
		担当課	児童センター
		No.	4
事業内容	乳幼児親子が気軽につどい、自由な雰囲気交流ができるよう、仲間づくりや情報交換のできる「子育て広場」を開催していきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(3)子育てについて学ぶ場の提供	
	中番号		
	小番号	④	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	4 子どもの安全の確保(P86・87)
	取り組み	児童センターの新設と各児童センターの有効活用	未就学児からはじめる安全に関する啓発活動
		公共施設等を有効に活用した子どもの居場所づくり	家庭内の事故(特に幼児)を未然に防ぐための啓発活動の展開
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	6か所	10か所	
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	・児童センターで地域子育て支援拠点事業のひろば型(3カ所)や子育て広場(4カ所)を実施。年間利用数延べ10,798人 ・西原子育てサロン(西原小学校こどもルーム内)年間利用数延べ1,135人、合計11,933人 ・地域子育て支援センターなどとの連携や、子育て相談に対応できる人材の配置や専門機関との連携が課題である。		
担当課 自己評価	4	市内で実施している他の子育てサロンなどとの情報交換やつながりがもてると柏市全体の支援がより向上できると思う。	
市民との協働	有	主任児童委員のかたと毎月事業を実施している。	
市民アンケート・意見の聴取	無	今後実施したい。	
関係部署との連携	有	家庭児童相談室と連携した。(不登校関連事業)	
障害者・外国人等への配慮	有	希望があれば参加は可能	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	各児童センターと西原小学校こどもルームで実施		
5. 平成25年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育てサロンの拡充	掲載ページ	24
		担当課	柏市社会福祉協議会
		No.	5
事業内容	子育てボランティアなどにより市民主体で運営されている子育てサロンを拡充していきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(4)地域ぐるみで子どもをはぐくむ支援	
	中番号	ア 交流の場を通じた子育て支援	
	小番号	⑧	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	
	取り組み	世代間交流など地域ぐるみによる子どもの成長支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	各地区社会福祉協議会に1か所
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	24年度は、講師として助産師を招き、今どきの子育て事情について研修を行った。研修では、グループに分かれ「地域でできること」をディスカッションし、子育て家庭が安心して子育てできる環境づくりが大切であることを改めて確認できた。純粋な子育てサロンとしては、24年度末実績(市社協把握)で17地区26箇所となっている。		
担当課 自己評価	3	新たに手賀地区の事業として子育てサロンが立ち上がった。(風早北部地区と協力)	
市民との協働	有	住民主体の活動であり、民生委員、主任児童委員、柏市民健康づくり推進員等を中心に実施。立ち上げ、運営の支援を市社協で行っている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	地区担当職員を配置し活動者の相談・支援を行った。	
関係部署との連携	有	保健所地域健康づくり課保健師の支援、児童育成課との連携(子どもルームの活用)。	
障害者・外国人等への配慮	有	各子育てサロンでは幅広く参加者を受け入れている。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	・子育てサロン活動者向け研修会等の開催 ・既存のサロン及び新規サロンに対する助成金の交付 ・地区担当職員による活動及び運営支援 ・新規立ち上げに対する支援 ・子育てに関する各種情報提供 ・市民向けPR冊子の作成及び配付		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	放課後子ども教室推進事業	掲載ページ	26
		担当課	生涯学習課
		No.	6
事業内容	市内小学校の児童を対象として、余裕教室や学校施設の開放等を行い、地域との連携による学習機会の提供や人材の活用を進め、勉強やスポーツ、文化活動を通じて児童に安全で安心な居場所を提供します。また、人材育成、実施場所の確保などにより、事業を拡充します。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(5)地域のなかで子どもが育つ環境の整備(居場所づくり)	
	中番号		
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	
	取り組み	放課後子ども教室事業の拡充	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
3か所以上	10か所	21か所	毎年2か所設置
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	・平成24年度は、ステップアップ教室を市内16小学校、土曜講座を市内13小学校及び青少年センターの計14か所において、地域の方々に、コーディネーター・アドバイザー・安全管理員として御協力いただき、放課後子ども教室を開催。平日は、ステップアップ教室(補充学習)を、土曜日は工作や芸術文化等の体験型学習を実施した。 ・年間の延べ参加者数は16,422人であり、昨年度より1,363人増えている。 ・達成指標に関しては、柏市総合計画後期基本計画や柏市教育振興計画でも「実施する小学校区」として設定しているが、国庫補助金の増額が見込めないことや、実施小学校区数の増が必ずしも参加者増につながる現状を踏まえ、事業充実のための方向性を再検討する必要性がある。 ・実施校の増加を目指さず、放課後子ども教室の趣旨を理解し、子どもの安心安全な居場所を提供できる講座運営をしていきます。		
担当課 自己評価	3	参加者数が増加した。	
市民との協働	有	アドバイザーや安全管理員は実施校の近隣の住民の方が行なっている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	運営要員や放課後子ども教室参加者の保護者に対するアンケート調査を実施している。	
関係部署との連携	有	こどもルーム担当室と連携し、ステップアップ終了後のこどもルーム入所児童の安全確保の体制を整えている。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者や外国人の対象者が希望がある場合も受け入れ協議。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	・実施校数をステップアップ教室15校。土曜講座を青少年センターを含む10会場で講座を開催する。 ・現在の事業計画の計画期間は平成22年度から24年度までであるため、今後の運営スタッフの確保や講座の適切なコーディネート等について、放課後子ども教室推進委員会で協議し、平成25年度以降3か年の事業計画に反映させる。 ・運営要員に対しては、安全管理や個人情報保護に関して研修会等の機会を通じて啓発を図る。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	青少年の居場所づくり事業	掲載ページ	28
		担当課	児童センター
		No.	7
事業内容	中高生などが、学校や部活動以外の居場所で、気軽につどい仲間づくりをする場所を提供するとともに、大人や異年齢集団との交流を通じて、青少年の健全育成を図ります。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(5)地域のなかで子どもが育つ環境の整備(居場所づくり)	
	中番号		
	小番号	⑩	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	
	取り組み	青少年の居場所づくり	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	1か所	3か所	
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	豊四季台児童センターにて、「青年スタッフの会」の若者スタッフが中心に行い、青少年が気軽に集いやすい場所を提供した。 青少年の居場所「あさっての会」(月に1回開催)を、しこだ児童センターで行い、増尾勉強会との共催で勉強会のスタッフが担当する。居場所づくりに関する講演会を開催し、理解を深め、青少年の自由にくつろげる場所を提供する。		
担当課 自己評価	3	困難とされていた若者スタッフの確保ができた。が、若者は忙しく実施日の確定が難しく、市民に対してのPR活動が消極的になってしまった。	
市民との協働	有	青年スタッフの会、増尾勉強会と協働している。	
市民アンケート・意見の聴取	有	実施にあたり、数回にわたり打合せや、意見交換をしている。	
関係部署との連携	無	児童育成課のみの実施であった。	
障害者・外国人等への配慮	有	学校・機関だけでなく夜間中学校などにもちらしを配布。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	①中高生のボランティア活動、キャンプ事業の実施、自由にくつろげる場所の提供。 ②青少年の居場所に関する積極的なPR活動の推進。 ③地域で子どもが育つ「まちのえんがわ」として多様な形態の居場所づくりを目指す。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容	児童センター以外にも青少年の居場所として利用できる部署との連携。		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	通常保育事業・延長保育事業	掲載ページ	33
		担当課	保育課
		No.	8
事業内容	保育ニーズの高まりに対応し、質・量の両面で保育事業の充実を図ります。待機児童の解消を図るため、民間活力等を活用しながら保育園入所定員の増加を目指します。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	保育園の増設(民間保育園の開所・運営支援)	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
31か所	33か所	41か所	認可保育園毎年1園程度新設 待機児童0人を最終目標とする
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	公立23園・私立18園 計41園(定員4,467名)で保育を実施。すべての園で延長保育を実施している。 平成24年4月1日現在の待機児童数は133人。 平成25年度4月開設を目指し私立3園(定員270名)整備を行った。 目標数値に達したが、保育園のニーズが高く、待機児童の解消に至っていない。		
担当課 自己評価	4	3園新設1園増設し定員を260名増やし、待機児童を減少することができた。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	無		
障害者・外国人等への配慮	有	障害の有無・国籍等を問わず受け入れを原則としている。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	公立23園・私立21園 計44園で保育を実施。定員4,737名。 平成26年度4月開設を目指し私立保育園を整備する。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	駅前認証保育施設事業	掲載ページ	34
		担当課	保育課
		No.	9
事業内容	都心方面へ通勤している就労者が多いという柏市の就労形態を考慮して、保育園待機児童解消と就労支援の一環として、柏市内の鉄道の駅改札口から半径300m以内の認可外施設のうち、市の基準を満たした施設を認証し、運営費等の一部を支援します。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	⑨	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	市独自の駅前認証保育の拡充(各駅に1か所ずつ配置できるように誘致)認可外保育園の質の向上(監査業務の実施(中核市業務))	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	4か所	6か所	市内各駅周辺に1か所を目指す
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	市内の5か所に設置。 延べ1,769人の保育を実施し、補助を行った。 指導監査室とともに、各施設年1回指導監査を実施し保育サービスの向上を図った。		
担当課 自己評価	5	待機児童を多数受入れ待機児童政策に貢献した。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	指導監査室とともに、施設に対し指導監査を実施し、良質な保育環境が確保されるように指導した。	
障害者・外国人等への配慮	無		
4. 平成25年度の実施内容			
内容	運営費等の補助を継続する。 指導監査を実施し更なる保育サービスの向上をめざす。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	預かり保育事業(幼稚園)	掲載ページ	34
		担当課	児童育成課
		No.	10
事業内容	保育園待機児童の解消と、幼稚園を利用する保護者のニーズに対応するため、私立幼稚園が教育時間以外に園児を預かる、預かり保育事業の支援を行います。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	(10)	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	幼稚園による預かり保育(3歳以上)の拡充	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	11園	15園	長期休暇期間中の 実施園数
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	補助の要件や、補助の対象経費の精査を実施し、本年度は10園に対して補助を実施した。幼稚園関係の補助制度については、平成27年度から子ども子育て3法が施行され、大きく変わることになる。そのため、国から新制度の具体的な内容が示され次第、導入時期にあわせて、新制度の内容を踏まえつつ、補助内容や補助額の見直しを検討していく。		
担当課 自己評価	4	保護者のニーズを把握し、今後の補助の形を検討していく必要がある。	
市民との協働	—	事業の性質上、協働を行う必要はない	
市民アンケート・意見の聴取	有	補助導入にあたって、各園にアンケート調査を行い、幼稚園協会との調整を行った上で制度設計を行った。	
関係部署との連携	無	今後は待機児童の人数を把握しながら、包括的に待機児童対策をどのようにするのか、検討する余地がある。	
障害者・外国人等への配慮	無	障害者への対応は別の補助金によって実施済みである。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	国の待機児童解消加速化プラン及び柏市待機児童解消アクションプランに基づき、幼稚園設置者等の意向も確認しながら、補助内容や補助額の見直しなど、今後の補助のあり方を検討していく。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	一時保育の充実	掲載ページ	33
		担当課	保育課
		No.	11
事業内容	保護者の就労や就学、疾病及び私的な理由等により保育園で一時的に児童を保育する一時保育のニーズに対応していきます。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	④	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	保育園の増設(民間保育園の開所・運営支援)	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
10か所	12か所	21か所	毎年1園程度設置
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	実施施設数 14か所 年間利用者数 延べ19,574人 新設保育園に対し事業の実施を促しているが、事業の性質上実施困難なケースがある。		
担当課 自己評価	4	2か所新設することができ、利用者数も前年を上回ることができた。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	無		
障害者・外国人等への配慮	有		
4. 平成25年度の実施内容			
内容	認可保育園14園で実施。 未実施園に対し事業実施を呼びかけ更なる充実を図る。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	休日保育事業	掲載ページ	33
		担当課	保育課
		No.	12
事業内容	日曜日、国民の祝日等に、保育所において保育を提供する休日保育のニーズに対応していきます。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	②	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み		
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
6か所	2か所	4か所	
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	私立保育園2園で実施し、延べ270名の利用があり前年を上回ることができた。		
担当課 自己評価	3	利用者数を増やすことができ、保育を必要とする家庭のニーズに応えることができた。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	—		
障害者・外国人等への配慮	有		
4. 平成25年度の実施内容			
内容	私立保育園2園で実施		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	乳幼児健康支援一時預かり(病児・病後児保育)	掲載ページ	33
		担当課	保育課
		No.	13
事業内容	民間施設の利用などにより病気及び病気回復期の児童を保育する病児・病後児保育施設を整備し、病後児保育等のニーズに対応していきます。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み		
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
1か所	1か所	2か所	
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	実績: 延べ利用児童数227名。平成23年度の220名に対し微増。 課題: 委託費が1,400万円と高額であり、適正な金額への見直しが必要。委託費のほとんどは人件費であるが、児童の安全性、病後の施設という専門性、という点を考慮しながら見直す。		
担当課 自己評価	1	監査から指摘されながらも、委託費の減額には至らなかった。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	全保育園へ保護者への周知のため、パンフレットを配布。	
障害者・外国人等への配慮	無		
4. 平成25年度の実施内容			
内容	申請書、パンフレットを、より現実に即した内容に改正する。 委託業務の見直し。 現在委託している場所以外での実施の可能性を探る。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容	未定		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	ファミリー・サポート・センター事業	掲載ページ	24
		担当課	児童育成課
		No.	14
事業内容	育児の援助を行いたい方(協力会員)と育児の援助を受けたい方(利用会員)で構成する会員組織で、会員相互による育児の援助活動を進めます。 今後、病児・病後児の受け入れを検討し、事業の充実を図ります。 また、協力会員を増やすことが課題となっているため、啓発活動等を充実します。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(4)地域ぐるみで子どもをはぐむ支援	
	中番号	ウ 地域の子育て力の向上	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	国の動きを踏まえた多様な保育サービスの検討	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	238人	拡大	育児の担い手となる協力会員数の増加を目指す
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	平成25年3月31日現在、全体会員数は、1,163人で昨年度の同時期に比べて、64人の増となった。しかしながら協力会員及び両方会員の人数は、250人であり、昨年度の同時期に比べて、7人の増となっている。		
担当課 自己評価	3	公共施設以外の周知方法として、民間施設での絵本の読み聞かせ、工作と事業周知、相談を組み合わせた取り組みを行った。	
市民との協働	有	協力会員の協力がなければなしえない事業である。今後とも、協力会員の意見を聞きながら事業を進めていきたい。	
市民アンケート・意見の聴取	有	適宜、協力会員の地区の代表者を集めた会議などで、本事業のあり方を検討するなどしている。	
関係部署との連携	有	アドバイザーが援助活動の中で、気がついたことを児童育成課を通じて適宜情報提供を行っている。	
障害者・外国人等への配慮	有	研修や交流会を通じて、配慮を行っている。また、小学校6年生までと対象を改め、対応をできるものとした。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	引き続き、協力会員(両方会員含む)の増加を図るために、広報活動の強化を行っていく。現在は、仕事と育児の両立支援という視点を中心に活動しているが、自宅で育児をしている家庭の育児不安や育児負担軽減のため、会員以外が参加できる交流会の実施を継続して行う。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	保育施設の指導監査	掲載ページ	35
		担当課	指導監査室
		No.	15
事業内容	市内の認可保育園・認可外保育施設を対象に、毎年、安全管理・事故防止等について、適正な運営がなされているか調査し、必要があれば指導を行います。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	⑭	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	認可外保育園の質の向上(監査業務の実施(中核市業務))	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	毎年実施することで、質的向上を図る
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	私立保育園18施設の指導監査は、指摘事項の総数は、165件で、内訳は文書指摘(C指摘)が92件、口頭指摘(B指摘)が73件となった。 指摘事項の具体的な内容は、非常時の避難と連絡体制の確立、家具の転倒防止対策等の園児の安全確保に関するもののほか、帳簿の整備、現金・預金の保管等の会計業務に関する指摘を行った。 認可外保育施設に対する立入調査結果は、対象の21施設中、指摘事項の総数は、43件で、内訳は文書指摘(C指摘)が25件、口頭指摘(B指摘)が18件となった。 課題は、通常の指導監査以外に、継続的な指導の必要な施設があり、経営主体の選定から、施設の認可、指導監査まで、担当課と密に連携した対応が求められる。		
担当課 自己評価	3	新設の施設は初回の調査の結果、指導事項が多くなる傾向があるため、新規施設が多いと平均の指導事項数も多くなる。施設設立の早い段階から、必要な指導を行う必要性があること。	
市民との協働	—	指導監査業務は市民との協働を行う必要がないため	
市民アンケート・意見の聴取	—	指導監査業務の性質上、対象が市民ではなく、認可保育所を運営する事業者なので、アンケート等は聴取していない。	
関係部署との連携	有	保育課とともに調査を実施している。	
障害者・外国人等への配慮	—	業務の対象に直接関係していない。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	認可保育園に対する指導監査は3園増加の21園に対し次の重点事項を中心に行う。①適正な保育従事者の配置、②保育園の財源である運営費の適正な運用。 認可外保育施設に対する立入調査は、前年度と同じ21園に対して主に次のことを重点的に行う。①保育従事者の適正配置の確保、②非常災害に備えた消火用具等の設置、避難訓練の最低月一回の実施、③人材育成のための研修記録の共有及び保育計画の作成、④乳幼児突然死症候群の予防のため、睡眠中の児童の顔色や呼吸の状態をきめ細かな観察。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	保育施設の指導監査	掲載ページ	35
		担当課	保育課
		No.	15
事業内容	市内の認可保育園・認可外保育施設を対象に、毎年、安全管理・事故防止等について、適正な運営がなされているか指導監査を実施します。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	⑭	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	認可外保育園の質の向上(監査業務の実施(中核市業務))	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	毎年実施することで、質的向上を図る
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	全私立認可保育園及び事業所内保育所を除く認可外保育施設を対象に指導監査室とともに指導監査を実施した。 指導監督基準を満たした認可外施設に対し、「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」を交付。		
担当課 自己評価	4	指摘の多い施設に対し、継続指導の実施を行うなど改善に向け積極的な指導を行った。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	—		
関係部署との連携	有	指導監査室とともに監査を実施している。	
障害者・外国人等への配慮	—		
4. 平成25年度の実施内容			
内容	私立認可保育園及び事業所内保育所を除く認可外保育施設を対象に指導監査室とともに指導監査を実施する。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)	掲載ページ	33
		担当課	児童育成課
		No.	16
事業内容	児童を養育している保護者が疾病等の理由により、家庭での養育が困難になった場合に、児童養護施設等で一時的に養育する子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)のニーズに対応していきます。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	⑤	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	国の動きを踏まえた多様な保育サービスの検討	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
1か所	1か所	2か所	2か所
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	家庭で育児を行っている親の中には、ひとりで育児を続けていることにより、育児疲れ、育児不安、育児ノイローゼに陥る親も多くなっており、このような人にも利用を促すため、本事業の周知を図り、必要とする人が利用できるようにする		
担当課 自己評価	4	- 虐待の未然防止につながる育児負担の軽減に役立っている。 - 利用申込時に面接を行うなどして、保護者への相談支援につなげている。 - 利用人数が増加しているのと同時に、一人当たりの利用日数が増えている。	
市民との協働	無		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	保育園等を通じての周知。	
障害者・外国人等への配慮	有	外国人利用可(但し住所要件)。障害児も極力受け入れる方針。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	松戸市にある晴香園へ委託し事業を実施。育児ストレス等を理由とした利用申込みも積極的に受け入れており、利用実績も年々増加している。今後の利用者数増加を見据え、委託先の確保が課題となる。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	こどもルーム(学童保育)の全小学校区整備	掲載ページ	35
		担当課	こどもルーム担当室
		No.	17
事業内容	市内全小学校区に計画的に整備し、放課後児童の健全育成と保護者への支援を図ります。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	イ 就学児童の保育サービスの充実	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	こどもルームの全小学校区への整備	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
39か所 —	37か所 2,100人	40か所 2,220人	28年度までに 全小学校区整備
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	【戸建てルームの整備】 小学校内の地域PTAルーム利用による仮設で平成24年4月より開所した柏の葉小こどもルームを、戸建てルームを設置し移転した。これにより定員が35人から100人に増加した。 【新設ルームの改修工事】 手賀西小学校の図工室を改修し、平成25年4月より手賀西小こどもルームを開所した。		
担当課 自己評価	4	42小学校中、39校にこどもルームを設置した。	
市民との協働	—	市立施設であるため、専ら市が主体となって整備する。	
市民アンケート・意見の聴取	—	整備場所が全小学校区内と明確であるため、意見は聴取していない。	
関係部署との連携	有	教育委員会と整備の順位や校内位置等を協議している。	
障害者・外国人等への配慮	有	千葉県福祉のまちづくり条例に沿った整備(バリアフリー)を実施している。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	高田小こどもルーム及び高柳小こどもルームの過密化を解消するため、第2保育室の設置		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育てワークショップの実施	掲載ページ	64
		担当課	児童センター
		No.	18
事業内容	保護者が様々な状況によって、育児に追い詰められる状況に陥らないようにするため、他者に相談したり、問題解決の糸口を見つけられるようになるためのワークショップを実施し、虐待の予防を図ります。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(1)子どもの権利を守るための環境整備	
	中番号		
	小番号	⑦	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
		子どもの権利擁護の充実と啓発の推進	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	参加者の声を反映しながら、事業充実を図る
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	子育ての情報を交換したり、自分たちで遊びを考えたりして、親子で楽しみながら仲間づくり。①幼児親子クラブ(年間30回)で実施(児童センター2ヶ所)②1歳児ルンルンクラブ(8回シリーズ)で実施(児童センター5ヶ所, こどもルーム2ヶ所, 近隣センター1ヶ所, 計8ヶ所)③2歳児ルンルンクラブ(8回シリーズ)で実施(児童センター5ヶ所)④0歳児ルンルンクラブ(6回シリーズ)で実施(児童センター7ヶ所, こどもルーム3ヶ所, 近隣センター1ヶ所, 計11ヶ所)		
担当課 自己評価	4	少人数で、子育てについてテーマを決めて話し合うことで、子育ての不安解消や問題解決につながった。	
市民との協働	有	協力者(市民)が参加	
市民アンケート・意見の聴取	有	各ワークショップ終了後、意見聴取を実施	
関係部署との連携	無		
障害者・外国人等への配慮	有	希望があれば参加可能	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	①幼児親子クラブ(年間30回)で実施(児童センター2ヶ所, 近隣センター1ヶ所, 計3ヶ所)②1歳児ルンルンクラブ(8回シリーズ)で実施(児童センター5ヶ所, こどもルーム3ヶ所, 近隣センター1ヶ所, 計9ヶ所)③0歳児ルンルンクラブ(8回シリーズ)で実施(児童センター7ヶ所, こどもルーム3ヶ所, 近隣センター1ヶ所, 計11ヶ所) ※2歳児ルンルンクラブについては、関連施設で2歳児を対象とする事業が増え申込みが減少したため、今年度は実施する予定はない。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	ひとり親等就業資格等取得助成	掲載ページ	67
		担当課	児童育成課
		No.	19
事業内容	母子・父子家庭の親及び養育者の就業の促進及び自立を図り、その家庭の生活の安定に資することを目的に、ひとり親等就業資格等助成金を交付します。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(2)ひとり親家庭等の子育て支援	
	中番号		
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	拡充	資格助成・就職支援を通じて、母親の就業率上昇を目指す
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	9件の助成申請に対し、計523,000円の資格取得助成を行った。 助成した資格は次のとおり。 ホームヘルパー2級:5件 マイクロソフトオフィススペシャリスト:2件 歯科衛生士:1件 保険請求事務技能検定試験:1件		
担当課 自己評価	4	例年実施している助成対象者に対するアンケート調査の結果、社員への昇格、無職者及び転職希望者の就職実現など一定の成果を得ている。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	有	例年資格助成対象者に対し、事後調査(意向調査)アンケートを実施している。要望などあった場合には協議を行い、必要資格項目及び不要資格項目の加除などを検討している。	
関係部署との連携	無		
障害者・外国人等への配慮	無		
4. 平成25年度の実施内容			
内容	実績のある制度ではあるが、平成23年度の事業仕分けにて、国の類似事業との一体的な利用をするよう指摘を受けた。このため、類似事業との整理・統合を行った。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	母子家庭自立支援プログラム策定事業	掲載ページ	67
		担当課	児童育成課
		No.	20
事業内容	母子家庭の自立を促進するため、きめ細やかで継続的な自立・就業支援を実施することを目的として、個々の状況やニーズに応じた自立支援プログラムを策定し、就職活動（履歴書・面接等）の指導やハローワークと連携した就業支援を行います。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(2)ひとり親家庭等の子育て支援	
	中番号		
	小番号	④	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	資格助成・就職支援を通じて、母親の就業率上昇を目指す
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	母子家庭の自立を促進するため、個別に面談を実施のうえ、個々の状況やニーズに応じた自立支援プログラムを策定した。平成24年度は計22件のプログラムを策定。内9件が就労に繋がった。		
担当課 自己評価	4	同事業でハローワークへ引き継いだ後の個別追跡調査により、高い就職率が期待できることから一定以上の成果が得られていると考えられる。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	就業支援についてハローワークとの連携が不可欠な状況。	
障害者・外国人等への配慮	無		
4. 平成25年度の実施内容			
内容	母子家庭の自立を促進するため、きめ細やかで継続的な自立・就業支援となるプログラム策定事業が効果的であることから、継続して実施していく。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	こども発達センターの開設	掲載ページ	17
		担当課	こども発達センター
		No.	21
事業内容	平成22年4月に開所する総合保健医療福祉施設に、子どもの療育や発達支援に特化した機能を集積し、子どもの発育、発達に関する相談支援を総合的に行う「こども発達センター」を開設します。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(2)相談体制の充実と構築	
	中番号	ア 相談窓口の充実	
	小番号	⑪	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	こども発達センターによる総合的な療育支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	—	継続	乳幼児期から切れ目なく、丁寧な個別支援を充実させる
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	・平成23年度からの継続利用児童634人、24年度からの新規利用児童353人、計987人 ・集団支援利用延人数：いちご(午前)1,681人、いちご(午後)1,475人、りんご348人、計3,504人 ・個別支援利用延人数：理学療法1,119人、作業療法539人、言語指導2,198人、心理指導1,182人、計5,038人 ・キッズルーム出席延人数：ひまわり11,285人、こすもす1,897人、計13,182人 ・保育所等訪問支援利用延人数：91人 ・障害児相談支援利用延人数：43人 【課題】 ・キッズルームひまわりの利用者増加への対応 ・集団支援、個別支援等を適切な頻度で利用者に提供するための体制整備		
担当課 自己評価	5	心理相談員2人、理学療法士1人が正規職員で増員され、個別支援の充実に繋がった。	
市民との協働	有	キッズルームひまわり、こすもすでボランティアの協力を得ている。	
市民アンケート・意見の聴取	無	利用者からの意見聴取は、随時行っている。	
関係部署との連携	有	保健所の健診事業担当と、定期的にまたケースを通じて随時連携しながら進めている。	
障害者・外国人等への配慮	—	事業そのものが障害児を対象としたもの	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	24年度から新規に始まった「保育所等訪問支援事業」、「障害児相談支援事業」について、事業の拡大を図る。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	のびのび相談(乳幼児専門相談)	掲載ページ	17
		担当課	地域健康づくり課
		No.	22
事業内容	未熟児は疾患や合併症を伴いやすく、成長発達も正期産児とは異なるなど、保護者の負担と不安も大きいと、小児科医、保健師、保育士、臨床発達心理士など多職種の視点で発育・発達の確認と相談に応じます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(2)相談体制の充実と構築	
	中番号	ア 相談窓口の充実	
	小番号	⑦	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応	
		一人ひとりに配慮した個別相談事業の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	乳幼児期から切れ目なく、丁寧な個別支援を充実させる
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	低出生体重児と多胎出生児を対象に、平成20年度より実施(月1回)している。来所者数は平成24年度延184人、従事者は小児科医師・臨床発達心理士・管理栄養士・保健師・助産師がおり、相談に応じている。対象者には、個別通知を行い、未来所児に対しては、電話での来所の勧奨と状況の確認を行っている。乳幼児早期から養育者と関わりを持つことで、多様な育児不安に対応している。また、多職種の視点で発育発達の確認を行うと共に、育児アンケートを使い虐待予防の支援を行っている。		
担当課 自己評価	5	多職種の視点で発育発達の確認を行い、育児アンケートを使い虐待予防の支援を行った	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	有	保護者へアンケートを郵送し、来所時にその内容を参考にしながら育児相談を行っている。	
関係部署との連携	有	必要時ケース連絡等を行っている。	
障害者・外国人等への配慮	有	個々への対応にて行っている。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	低出生体重児と多胎出生児対象に、5か月児健康診査として月1回実施。従事者は小児科医師・臨床発達心理士・管理栄養士・保健師・助産師・保育士が、必要な相談に応じる。対象者には、個別通知を行い、来所しやすいように予約制をなくした。未来所児に対しては、電話で来所の勧奨や状況の確認を行う。乳幼児早期から養育者と関わりを持つことで、多様な育児不安に対応。また、多職種の視点で発育発達の確認を行うと共に、育児アンケートを使い虐待予防の支援を行う。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	発達支援相談	掲載ページ	17
		担当課	地域健康づくり課
		No.	23
事業内容	発達面で気になる子どもの保護者が、気軽に相談できる医療相談を実施しています。児童精神科医、臨床発達心理士、保健師等が相談に応じます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(2)相談体制の充実と構築	
	中番号	ア 相談窓口の充実	
	小番号	⑧	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応	
		一人ひとりに配慮した個別相談事業の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	乳幼児期から切れ目なく、丁寧な個別支援を充実させる
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	○保護者の不安解消につなげるため、医療を受けるべきか迷う保護者や今後の進路などに不安を感じている保護者から相談を、児童相談精神医師等の専門相談につなげる。 ○相談後の継続支援につなげるため、ケースに応じて、病院やこども発達センターなどの他機関の紹介や、地域担当保健師のフォローにつなげる。またすでに地域担当保健師が関わっている場合は、出来るだけ同席をする。 ○関係機関と重層的な支援が出来るように、保育園や幼稚園への事業の啓発を行い、保護者の了解の下、情報の共有に努める。		
担当課 自己評価	5	保護者や本人支援のため体制作りや、相談機能の充実を図る。ニーズに応じた専門的支援をする。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	—		
関係部署との連携	有	こども発達センターや保育機関等とケースの相談等をしている。	
障害者・外国人等への配慮	有	個々への対応にて行っている。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	児童精神科医と臨床発達心理士による個別相談を行い、保護者の不安や心配を受止め、専門的な立場から助言を行う。 平成25年度は10回を予定している。1回4件まで予約制で受付をしている。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	発達(継続)相談	掲載ページ	17
		担当課	地域健康づくり課
		No.	24
事業内容	1歳6か月児健康診査や3歳児健康診査後の育児不安や幼児の発育・発達などについて、心理相談員が継続した支援を行います。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(2)相談体制の充実と構築	
	中番号	ア 相談窓口の充実	
	小番号	(12)	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応	
		一人ひとりに配慮した個別相談事業の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	幼児期から切れ目なく、丁寧な個別支援を充実させる
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	24年度は170件の利用があった。午後の相談日を設け、より相談しやすい体制を整備した。相談主訴として、発達の遅れ・言葉の遅れが60%を占めている。利用者の年齢構成は2歳が47%と最も多い。1歳6か月健診後、言葉の発達確認等を地域担当が行い、必要に応じ、発達相談へ案内をしている。発達相談からこども発達センターへ繋がるケースが27%を占めている。支援を円滑にするため、こども発達センターとの情報の共有を行うと同時に、互いの事業を遂行し、調整を行っていく必要がある。		
担当課 自己評価	5	継続支援が必要な市民に実施できている。25年度は発達相談事業がこども発達センターへと移管される。連携を図りながら相談支援体制を整えていく。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	発達(継続)相談の結果、必要に応じて医療機関・保育園・幼稚園・療育機関との連携を行なう	
障害者・外国人等への配慮	有	相談を受けやすい日時を設定する	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	25年度より発達相談事業はこども発達センターへと移管される。連携を図りながら、より相談支援体制を整えていく。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	親子教室(かんがる一広場)	掲載ページ	39
		担当課	地域健康づくり課
		No.	25
事業内容	低体重児, 多胎出生児, 発育・発達が気になる児, 病気や障害を持つ児等を対象に, 子育てに関する情報交換や相談, 親子遊びを通して児のこころとからだの発達支援と保護者同士の交流を深めることができるよう, 親子教室を実施しています。		
計画系統	基本目標	3 親子が健康に過ごすために	
	大番号	(1)親子の健康づくり支援	
	中番号	エ 親子がつどう場での支援	
	小番号	②	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	一人ひとりに配慮した個別相談事業の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	乳幼児期から切れ目なく, 丁寧な個別支援を充実させる
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	のびのび相談(乳幼児専門相談)と統合		
担当課 自己評価			
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	—		
関係部署との連携	—		
障害者・外国人等への配慮	有	個々への対応にて行っている。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	のびのび相談(未熟児・多胎児等健康診査)と統合		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	1歳6か月児健康診査事後指導 (ひよこルーム)	掲載ページ	71
		担当課	地域健康づくり課
		No.	26
事業内容	集団遊びを通して親子の愛着形成を援助し、子どもの成長・発達を支援するとともに、保護者相互の相談・交流の場として充実を図っています。また、こども発達センターやことばの相談室等の療育機関との連携を強化し、地域で安心して生活できるよう相談支援体制を整備しています。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(3) その子らしく健やかに成長するための支援(障害児等支援の充実)	
	中番号	イ 療育等の充実	
	小番号	⑧	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援 相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	乳幼児期から切れ目なく、丁寧な個別支援を充実させる
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	年間22回の事業開催の中で延べ63組の親子により、467組の親子の参加があった。24年度も利用ニーズの明確な把握及び事業評価への活用をねらい、利用前後にアンケートを実施した。また効果的な関わりのため、心理相談員による、個別心理相談、音楽セラピーを実施した。アンケートは、対象者の的確なニーズ把握につながった。今後は、保護者の思いをタイムリーに受容し、適切な関わりへつなげるなど、アンケート回答後の対応を強化していく。個別心理相談は、動機付けの機会、気軽に相談できる機会となり、個別支援の強化へつながった。こども発達センターが同施設に設けられ、早期に療育へ繋がるケースも増えてきている。ひよこルームにおける個別支援のみで、関わりが終了とならぬよう、丁寧な関わりを目指していきたい。		
担当課 自己評価	5	引き続き個別アセスメントを強化し、発達障害の早期支援を狙いとした市全体のひよこルームの事業意義を他の取組みと兼ね合いの中で検討を重ねていく	
市民との協働	—	なし	
市民アンケート・意見の聴取	有	利用者の事業利用前後のアンケート実施	
関係部署との連携	有	こども発達センターの療育部門との連携を行っている。	
障害者・外国人等への配慮	有	対象児の兄弟がいる場合、兄弟での受け入れをすることで参加しやすい環境をつくっている。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	・引き続きの利用前後のアンケート実施及び個別心理相談の実施 ・意識的な親子遊び、関わりの具体的な提案をねらい、音楽セラピーを導入 ・地域担当保健師による個別支援を重ねて行うことにより、的確な時期に療育等、その後の進路へスムーズにつなげていくようにする		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容	発達障害の早期支援を狙いとした市全体のひよこルームの事業意義を、庁内外の他機関・他事業の取組みとの兼ね合いの中で検討を重ねていく。		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	地域療育支援	掲載ページ	70
		担当課	こども発達センター
		No.	27
事業内容	障害児を受け入れている施設(保育園、幼稚園等)に、公開指導、巡回支援を行います。また、在宅の障害児及びその家族に対し、家庭訪問による療育支援を行います。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(3)その子らしく健やかに成長するための支援(障害児等支援の充実)	
	中番号	イ 療育等の充実	
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
		相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	障害児を受け入れる保育園・幼稚園への公開指導・巡回相談の実施
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	・保育園・幼稚園職員を対象にしたキッズルーム公開療育を4回実施 ・幼稚園を中心とした巡回支援は「柏市障害児等療育支援事業」の「施設支援」として、当該事業を委託している市内の民間3事業所を中心に、関係機関職員とチームを組んで実施した ・実施回数: 幼稚園18園に対し延べ51回、保育園12園に対し延べ25回、こどもルーム13か所に対し延べ13回、職員研修11回。(保育園のうちの5園は巡回支援の一体化モデル園として実施) ・保育課が実施する巡回支援にはセンターから4人を派遣、9園に対し27回の支援を行った。(全体としては21園、63回) 【課題】 ・増加傾向にある民間の保育園、幼稚園の支援希望への対応 ・幼・保巡回支援一体化の推進		
担当課 自己評価	5	官民の協力体制による幼稚園、保育園等巡回支援の一体化を推進することができた	
市民との協働	—	幼稚園巡回支援については、民間事業所と協力して事業を実施している。	
市民アンケート・意見の聴取	—	事業の性質上、行う必要がない。	
関係部署との連携	有	保育課、障害福祉課と連携をとりながら各事業を実施。	
障害者・外国人等への配慮	有	事業そのものが障害児を対象としたもの	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	・24年度、一体化のモデル園として支援を実施した公立保育園5園の支援に対する評価が高かったことを受けて、25年度は、一体化の枠組みの中で実施する公立保育園巡回支援を15園程度に拡大する。 ・24年度から始まった「保育所等訪問支援事業」の拡大を図る。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	地域療育支援	掲載ページ	70
		担当課	保育課
		No.	27
事業内容	障害児を受け入れている施設(保育園、幼稚園等)に、公開指導、巡回相談を行います。また、在宅の障害児及びその家族に対し、家庭訪問による療育支援を行います。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(3)その子らしく健やかに成長するための支援(障害児等支援の充実)	
	中番号	イ 療育等の充実	
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
		相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	障害児を受け入れる保育園・幼稚園への公開指導・巡回相談の実施
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	・障害児を受け入れている保育園において、年3回巡回指導を行った。 ・保育園等に入園している園児へ、集団適応のための保育所等訪問支援が開始された。 ・1歳6か月健診、3歳児健診につなげ、早期から療育につながるよう連携をとった。		
担当課 自己評価	5	認可保育園における障害児巡回指導では、その場のアドバイスのみではなく、その後も必要に応じて、他機関と連携をとりながらサポートをした。	
市民との協働	無		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	地域健康づくり課及びこども発達センターと連携をとっている。	
障害者・外国人等への配慮	有	事業そのものが障害児を対象にしている。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	・保育所等訪問支援、施設への巡回支援を継続する。 ・関係機関と連携をとり、子どもの早期支援、保護者へのサポートを行う。 ・障害児の保育を行う保育士への研修を実施する。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	日中一時支援事業	掲載ページ	72
		担当課	障害福祉課
		No.	28
事業内容	放課後や長期休暇中の活動場所が必要な障害児等に対し、親の就労支援や家族の一時的な休息を目的として、日中における見守り等の支援を行います。 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の一つとして、今後も事業の拡充に努めます。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(3) その子らしく健やかに成長するための支援(障害児等支援の充実)	
	中番号	オ 施設サービス事業の充実	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	拡充	障害児等の一時預かりの実施
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	【実績】 長期休暇を中心に多くの利用(実利用者114人)があったが、平成24年4月の児童福祉法改正に伴い、新たに実施された障害児通所支援事業を利用する障害児が増えたため、全体的な利用日数は減少傾向にある。 【課題】 日中一時支援を行っていた事業者が新たに障害児通所支援事業所を立ち上げ、障害児通所支援事業として包括的にサービス提供を行うように利用形態が変遷してきていることから今後も利用日数は減少傾向になるものと思われる。		
担当課 自己評価	4	障害児の利用は減少傾向であるが、障害児通所支援の利用も含めて障害児の放課後や長期休暇中の活動場所の確保として一定の成果を上げている。	
市民との協働	無	—	
市民アンケート・意見の聴取	無	—	
関係部署との連携	無	—	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者を対象にしたサービスです。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	継続して制度実施。ただし、障害児通所支援事業を利用できる場合には、当該サービスの利用を優先する。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容	同上		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	日本語指導者派遣事業	掲載ページ	52
		担当課	指導課
		No.	29
事業内容	日本語を理解することが困難な児童生徒の学習を支援するため、在籍する市内の小中学校に、日本語指導の技術を有する者を派遣します。		
計画系統	基本目標	4 心身ともに健やかに成長し、学びを深めていくために	
	大番号	(2)確かな学力をはぐむ教育	
	中番号	ウ 特別な支援を必要とする児童生徒の教育の充実	
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	柏市バイリンガル教員の配置(英語, 中国語)
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	・年間実績 742回 (在籍校支援・土曜日会場支援及び、サマースクール) ・学校からの支援要請に100%対応することができた。また、中学校3年生の生徒に対しては、作文指導や面接指導を充実させ、該当生徒全員が高等学校へ進学した。		
担当課 自己評価	5	学校からの要請に100%対応することができた。	
市民との協働	有	JSL児童生徒の日本語と教科学習の支援会と協働事業の協定を締結している。	
市民アンケート・意見の聴取	無	特に実施してはいない。	
関係部署との連携	有	指導課を通じて、協働推進課発行の文書を該当児童生徒に配布したり、国際交流協会会報を市内小中学校全62校に配布している。	
障害者・外国人等への配慮	有	日本語版と英語版の柏市就学ガイダンスの活用。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	・昨年度同様、学校からの要請に全て応じる。 ・初期日本語支援を行っている柏市学校派遣日本語支援の会との連携を密にし、該当児童生徒に応じた支援の充実を図る。 ・支援が校外で行われることが多いので、児童生徒の気になる様子や家庭状況の変化を知った際に、在籍校へその報告がスムーズに行われるよう、指導課としてミーティングなどで依頼していく。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	スクールガード(登下校の安全対策)	掲載ページ	76
		担当課	学校企画室
		No.	30
事業内容	児童生徒の登下校の安全を確保するため、通学路上の電柱に「文」マークの設置を進めます。また、各学校が行う通学路点検の報告事項を踏まえ、関係機関と連携し、安全確保を図ります。通学時間帯の安全確保のためのPTAや地域住民等によるスクールガードの自主的な取り組みを支援します。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(2)子ども等の安全の確保	
	中番号	ア 防犯等の安全対策	
	小番号	②	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	通学路など学校外の安全対策の推進	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	2,200人	拡充	地域の見守り活動を実施
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	・耐用年数が経過した「文」マーク交換を191箇所、新設を5箇所行った。 ・市内全小学校の42校を対象に、102箇所の危険箇所を、柏警察署、道路管理者、学校企画室及び学校と合同して点検を行い、道路管理者及び警察に対応を依頼し現在実施中である。 ・不審者等の情報が多いことから、今後も地域住民ボランティアやPTA等の見守り活動拡充が必要である。		
担当課 自己評価	4	より多くのPTAや地域住民等による見守り活動が必要である。	
市民との協働	有	ボランティアによる見守り活動が行われている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	各学校ごとに登下校の安全対策にあたりPTAや地域住民等と意見交換しながら対応しており、それらの活動を支援している。	
関係部署との連携	有	防犯関係部署及び交通安全関係部署に対応を要請している。	
障害者・外国人等への配慮	有	通学路の段差解消を道路管理者に要請している。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	・通学路の危険箇所の改善要望を引き続き行う。 ・耐用年数6年が経過した「文」マーク交換と新設を200箇所行う予定。 ・新入学児童を対象とした防犯教室を実施する。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	エンジョイ・パトロール(安全安心まちづくり推進事業)	掲載ページ	76
		担当課	防災安全課
		No.	31
事業内容	市民の防犯意識を高めるとともに、自主防犯活動の普及を図り、安全で安心なまちづくりを推進していきます。主な事業として実施しているエンジョイ・パトロール事業や市民安全パトロール支援車(通称:サボカー)事業などの充実を図ります。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(2)子ども等の安全の確保	
	中番号	ア 防犯等の安全対策	
	小番号	⑥	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	地域ぐるみの見守り体制の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	エンジョイ・パトロール 5,300人	エンジョイ・パトロール 拡充	地域の見守り活動を実施
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	平成24年度のエンジョイ・パトロール登録者数は約7,700人から約8,100人へと増加した。平成24年の柏市の刑法犯認知件数は5,250件で、前年と比べ311件増加となったが、1万件を超えていた平成14年をピークとして減少傾向にある。これは自主防犯活動に携わる市民の増加及び、その活動が継続して行われていることが一因であると判断できる。子どもを狙う犯罪への防犯意識の高揚も影響してか、小学生等の保護者の登録が増加しているが、学校を離れてしまうと脱退する保護者も多く、若い世代の市民が継続して活動できる施策を行っていくことが課題である。		
担当課 自己評価	4	登録者数の増加。	
市民との協働	有	事業の趣旨に賛同した市民による自主防犯パトロールである。	
市民アンケート・意見の聴取	無	アンケート等は実施していない。23年度まで登録者による情報交換会を実施していたが、業務の見直しを行っている。	
関係部署との連携	有	沼南支所総務課に、登録・退会・帽子の交換等の業務を依頼している。	
障害者・外国人等への配慮	無	特になし	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	25年度も引き続き、登録者数の増加を目指す。 また、登録者の管理・登録システムを新規に構築し、事務改善を図る。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	犯罪防止を考慮した公園の設計管理	掲載ページ	77
		担当課	公園管理課
		No.	32
事業内容	新設公園の設計段階で、犯罪防止の観点等から見通しに配慮した樹木や施設の配置を行います。また、既設公園の樹木を定期的に剪定するなど適正な管理を実施します。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(2)子ども等の安全の確保	
	中番号	ア 防犯等の安全対策	
	小番号	⑦	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	犯罪や交通事故などを防ぐための環境整備	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	4公園を「都市公園移動円滑化基準」に基づき、新規に整備した。また、既設公園については、定期的な樹木選定等を行い維持管理に努めている。課題としては、公園数の増加、樹木の成長等から今後更なる維持管理費の増加が見込まれる。		
担当課 自己評価	3	定期的な除草、清掃、剪定を実施し適正な維持管理に努めた。	
市民との協働	無	今後、維持管理の面で連携を図っていく可能性あり。	
市民アンケート・意見の聴取	無	利用者の意見をより多く聞く必要あり。	
関係部署との連携	無	維持管理のあり方について連携を図る。	
障害者・外国人等への配慮	有	「都市公園移動円滑化基準」に基づき高齢者、障害者等が利用する施設等について計画・整備を実施している。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	今後も「都市公園移動円滑化基準」等を基に整備を進めると共に、見通しに配慮した樹木及び施設整備を行う。また、既設公園についても従来どおり定期的な樹木剪定等を実施し、利用者の安全を確保し、適切な維持管理を実施していく。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	交通安全教室の実施	掲載ページ	77
		担当課	交通施設課
		No.	33
事業内容	幼児、児童、生徒が交通事故に遭わないよう、交通安全教室を実施します。 また、幼児・児童等の保護者への啓発も進めます。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(2)子ども等の安全の確保	
	中番号	イ 交通安全対策	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	犯罪や交通事故などを防ぐための環境整備	
		犯罪や交通事故などを未然に防ぐための啓発活動の展開	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	交通事故の減少を目指す
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	幼児、児童、生徒に対し交通安全教室を実施。児童の交通安全教室は、42校中41校で実施した。幼児については、対象幼稚園・保育園73園中49園で実施した。課題としては、交通事故防止には、家庭、保護者の関わりが大きい、特に幼児期は保護者からの指導が重要であるため、保護者への安全教室を拡充するとともに、各園を通し保護者へ情報提供していきたい。		
担当課 自己評価	4	児童に対しては、98%の実施率だったが、幼児(幼稚園・保育園)は、67%の実施率だった。	
市民との協働	有	小学生の登校・下校時の立哨指導等安全対策を市民ボランティア交通安全推進隊、PTA等が協力して実施。	
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	学校企画室、保育課等関係課と連携し交通安全教室、啓発活動を実施。学校企画室から市内小中学校に、事故情報を一斉FAXした。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者については、要望に応じて安全教室実施。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	各対象に交通安全教室を実施。 1. 児童(小学生)5月から9月実施 2. 幼児(幼稚園・保育園)10月から3月実施 3. 保護者対象は通年実施 4. 障害者への交通安全教室は要望に応じ実施		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容	幼児、児童、生徒に対し交通安全教室を継続して実施していく。 今後は、保育士や教諭など教育関係者に対する交通安全教育を推進するなど、より効果的な交通安全方法を検討していく。		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	補導活動事業	掲載ページ	78
		担当課	少年補導センター
		No.	34
事業内容	少年補導センターの計画のもと、少年補導委員との協働により街頭パトロールを実施し、青少年の問題行動を防止します。パトロール等の効果を高めていくために、学校や警察等の関係機関との情報共有や連携を強化します。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(3) 非行等の防止と有害環境対策の推進	
	中番号		
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	地域ぐるみの見守り体制の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	学校・関係機関と連携し、パトロールを実施
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	【実績】①街頭補導：少年補導委員及び少年補導センター補導専門員が毎日柏駅周辺の街頭で補導を実施し、年間で910人に声かけを行った。(前年比113人減)②地区補導：少年補導委員が所属する地区内の補導を実施し、2月末時点で584人に声かけを行った。(前年同月末時点比139人減)③特別補導：学校警察連絡協議会が主催する夏季年末年始の特別補導に協力した。また、中学校の体育祭卒業式開催時に特別補導を実施した。 【課題】街頭補導の実施体制の検討		
担当課 自己評価	5	前年度とほぼ同じ補導活動回数で声かけ人数が減少していることから、問題行動の防止効果はあると考える。	
市民との協働	有	柏市少年補導委員連絡協議会との連携	
市民アンケート・意見の聴取	無	特に無し	
関係部署との連携	有	学校企画室から、不審者情報の提供を受ける。 防災安全課と共同で一日補導キャンペーンを実施する。	
障害者・外国人等への配慮	無	特に無し	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	①街頭補導：怠学と喫煙を防止するため、少年補導委員と少年補導センター補導専門員で、平日毎日柏駅周辺の街頭を巡回する。また夜遊びを防止するため、少年補導委員と少年補導センター職員で、月4回薄暮と夜間も巡回する。②地区補導：地域の青少年を見守るため、少年補導委員が所属する地区内を巡回する。また夜遊びを防止するため、夏祭り、体育祭、卒業式の時期は夜間も巡回する。③問題行動を防止するため、各校生徒指導主任と少年補導センター職員で、夏季と年末年始に柏駅周辺の街頭を巡回する。また指導課と少年補導センターの職員で、体育祭と卒業式の前夜と当日に各校を巡回する。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容	街頭補導の実施体制を引き続き検討しながら、街頭補導・地区補導・特別補導を継続していく。		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	情報収集活動(プロフや裏サイトのチェック活動)	掲載ページ	78
		担当課	少年補導センター
		No.	35
事業内容	最近問題となっている携帯電話やインターネットのプロフィールサイトや学校裏サイトのチェック活動(サイバーパトロール)を実施し、学校や関係機関との連携を強化します。また、講演会で保護者や学校、関係団体などへサイバーパトロールの協力を広めていきます。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(3) 非行等の防止と有害環境対策の推進	
	中番号		
	小番号	②	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	犯罪や交通事故などを防ぐための環境整備	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	監視活動を通じて犯罪を未然に防ぐ
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	【実績】①サイバーパトロール:26件(前年比22件減)を学校や関係機関に情報提供(通報)した。②講演会:13回(前年比1回減)実施し、延べ1,993人(前年比681人減)が参加した。 【課題】ソーシャルネットサービスの状況変化に適応したサイバーパトロールのあり方		
担当課 自己評価	3	問題のあるサイトの情報提供(通報)実績は減少しているが、会員制サイトへの移行により潜在化した可能性もある。	
市民との協働	有	講演会での啓発を通じて、児童生徒・保護者・教員・一般市民等から、会員制サイトについても情報の収集を図る。	
市民アンケート・意見の聴取	無	実施していない。	
関係部署との連携	有	千葉県県民生活課から、サイバーパトロールの月例報告を受ける。生涯学習課のまちづくり出前講座に掲載し、講演依頼を募集する。	
障害者・外国人等への配慮	無	特に無し	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	①サイバーパトロール:誰でも見られるサイトで監視が必要なものが発生していれば、新たにパトロールしていく。②講演会:講演依頼者の新しい要望や、携帯電話機器・サービスの状況変化を反映した講演内容に、随時更新していく。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容	実施体制を検討しながら、サイバーパトロールや講演会を継続していく。		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育てセミナー開催	掲載ページ	20
		担当課	地域支援課
		No.	36
事業内容	子どもの成長や親の子育ての悩みを解決し、自らが生きる力をはぐくむためのセミナーを実施します。子どもの年齢に応じた講座の実施など、参加者のニーズに対応した内容の講座を実施します。また、各地域にある子育てサロンや、児童センターとの連携による子育て支援事業を協働で推進していきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(3)子育てについて学ぶ場の提供	
	中番号		
	小番号	⑥	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	未就学児からはじめる安全に関する啓発活動	
		家庭内の事故(特に幼児)を未然に防ぐための啓発活動の展開	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	子育て支援事業等で実施
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	この事業は、平成22年度の事業仕分けにより、廃止になっています。		
担当課 自己評価			
市民との協働			
市民アンケート・意見の聴取			
関係部署との 連携			
障害者・外国人 等への配慮			
4. 平成25年度の実施内容			
内容			
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	母と子のつどい	掲載ページ	23
		担当課	地域健康づくり課
		No.	36
事業内容	妊婦から1歳6か月頃までに乳幼児と保護者を対象に、乳幼児の身体測定、育児相談のほか、栄養相談、歯科相談を行うとともに、地域でのつながりの場として、毎月市内19地域で実施します。地域担当保健師等と柏市民健康づくり推進員が子育てを応援します。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(4)地域ぐるみで子どもをはぐむ支援	
	中番号	ア 交流の場を通じた子育て支援	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	未就学児からはじめる安全に関する啓発活動	
		家庭内の事故(特に幼児)を未然に防ぐための啓発活動の展開	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	子育て支援事業等で実施
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	柏市こんにちは赤ちゃん事業での訪問時に柏市民健康づくり推進員が、当事業への参加呼びかけをしており、つどいの場を協働で開催している。平成24年度は、240回実施、参加者数延べ12,493人であった。参加者数が特に多い会場では、専門職を1名増員することで個別相談体制や安全面の配慮を強化した。また、今後、昨年度実施したアンケート結果の評価や各会場の職員の評価をもとに、事業内容や方法を検討し、地域ぐるみの子育て支援として効果的に展開させていく。		
担当課 自己評価	4	地域ぐるみの子育て支援として、推進員と協働のもと実施できた。また、来年度に向けて啓発内容を検討した。	
市民との協働	有	柏市民健康づくり推進員との協働で実施している	
市民アンケート・意見の聴取	有	昨年度実施した参加者アンケートをまとめ、千葉県公衆衛生学会にて発表した。	
関係部署との連携	無		
障害者・外国人等への配慮	有	個別相談が行いやすいよう配慮する。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	・特に参加者数が多い会場では、職員2名から3名と多く配置し、個別相談や事故予防等に十分対応できるよう体制整備を継続する。 ・各地域講話により提供する情報を統一し、効果的・効率的な情報提供を図る。 ・従事者が共通認識のもと事業を展開できるよう実施マニュアルを配布する。 ・参加者及び従事者のアンケートの結果評価をもとに、地域で親子が安心して健やかに子育てができるような事業運営に反映させる。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育てに優しいまちづくりワークショップ	掲載ページ	74
		担当課	児童育成課
		No.	37
事業内容	子育て中の親などを対象に、「子育てしやすいまち」をテーマに、ワークショップを開催します。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(1)子育てにやさしい生活環境の整備	
	中番号		
	小番号	⑥	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み		
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	—	新規	
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	平成24年度は児童センターの主催による子育てワークショップの実施をお願いし、平成25年3月2日に「かしわっ子の未来座談会」において、子育て活動団体、子育て中の保護者、行政職員が参加したワークショップをおこない、テーマごとに分かれ、「地域とのつながり、多世代のかかわり、こどもの居場所等」の意見交換を行った。		
担当課 自己評価	3	児童センターの協力により、子育て活動団体、子育て中の保護者及び行政職員で活発に意見交換し、有意義なワークショップとなった。	
市民との協働	無		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	無		
障害者・外国人等への配慮	無		
4. 平成25年度の実施内容			
内容	平成25年度は、かしわ市民大学「かしわっ子の未来と地域をつなげる！～レインボーリッジ大作戦～」のクラスのカリキュラムで、子どもたちを地域で育てる視点で、地域、学校、行政及び市民活動団体などが一緒になって、地域と子どもをつなぐネットワークづくりや人材育成について、考えていく予定である。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	庁内関係各課による計画の進行管理	掲載ページ	88
		担当課	こども政策室
		No.	38
事業内容	計画を実効性のあるものとして推進するため、計画で示した施策・事業について進捗状況を定期的(毎年)に把握し、柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)及びかしわ子どもネットワーク会議に報告します。また、市ホームページなどで公表し、市民にわかりやすく周知を図っていきます。		
計画系統	基本目標		
	大番号		
	中番号		
	小番号		
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	庁内関係各課による計画の進行管理	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	進行状況を毎年ホームページにて公表
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	後期行動計画における目標事業量対象事業の平成23年度実績について進行管理票を作成し、柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)及びかしわ子どもネットワーク会議に報告するとともに、市ホームページにて公表した。		
担当課 自己評価	5	関係各課と連携し、適切な進行管理に努めた。	
市民との協働	有	審議会(分科会)、ネットワーク会議等において計画の進捗状況を点検・評価していただいている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	審議会(分科会)、ネットワーク会議を通じて市民意見を聴取している。	
関係部署との連携	有	対象事業の所管部署と連携して毎年度進行管理票を作成し、進捗状況を把握している。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者や外国人など、配慮が必要な児童・保護者への支援も重点事業とし、総合的・継続的な支援に努めている。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	後期行動計画における目標事業量対象事業の平成24年度実績について進行管理票を作成し、柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)及びかしわ子どもネットワーク会議に報告するとともに、市ホームページにて公表する。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容	後期行動計画期間(平成26年度まで)において、これまでと同様に実施していく。		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	審議会による計画の進行管理	掲載ページ	88
		担当課	こども政策室
		No.	39
事業内容	関係団体の代表者、公募市民、学識経験者等からなる柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)に施策の進捗状況やかしわ子どもネットワーク会議からの意見などを報告し、専門的な見地から点検・評価を受けます。		
計画系統	基本目標		
	大番号		
	中番号		
	小番号		
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	審議会による計画の進行管理	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	—	新規	意見をもとに、施策・事業の見直しを実施
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	平成25年2月7日に柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)を開催し、後期行動計画の進行管理票(平成23年度分)及びかしわ子どもネットワーク会議で出された意見を報告し、専門的な見地から意見を聴取した。 あわせて、子ども・子育て関連3法の概要について説明し、意見を聴取した。		
担当課 自己評価	5	有益な意見を得ることができた。	
市民との協働	有	審議会(分科会)は市民からなる組織であり、十分な連携・協働を心がけている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	審議会(分科会)、ネットワーク会議を通じて市民意見を聴取している。	
関係部署との連携	有	審議会(分科会)の開催にあたっては、関係部署の担当者も出席している。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者や外国人など、配慮が必要な児童・保護者への支援も重点事業とし、総合的・継続的な支援に努めている。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	平成24年度の実績について進行管理票を作成するとともに、かしわ子どもネットワーク会議の意見を取りまとめた上で、平成26年2月頃に柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)を開催する予定である。 また、これ以外に、子ども・子育て支援新制度に係る各種基準条例の制定に関する審議についても、複数回開催する予定である。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	市民提案を受け止め支援する体制整備	掲載ページ	88
		担当課	こども政策室
		No.	40
事業内容	子育て支援団体の代表者、公募市民、学識経験者等からなるかしわ子どもネットワーク会議に施策の進捗状況を報告し点検・評価を受けるとともに、市民意向を反映した計画の推進方策についての検討を行います。		
計画系統	基本目標		
	大番号		
	中番号		
	小番号		
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	市民の意見を反映した計画の進行管理	
		市民提案を受け止め、支援する体制整備	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	—	新規	かしわ子どもネットワーク会議を中心に、市民提案を具体化
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	平成24年度のかしわ子どもネットワーク会議は、平成24年7月11日、同年11月16日及び平成25年2月7日に開催した。 第1回では、進行管理票の重点3(配慮が必要な児童・保護者への支援)について報告し、意見交換した。 第2回では、地域ぐるみの子育て支援に関する事例を紹介し、進行管理票の重点1(子どもの居場所づくりと子どもの成長支援)について報告し、意見交換した。 第3回では、会議等で出された意見及びそれに対する市の考えを説明し、意見交換した。あわせて、子ども・子育て関連3法について説明し、今後設置する「子ども・子育て会議」の議論に生かせる意見を聴取した。		
担当課 自己評価	4	事例紹介を取り入れながら進行管理票に関する意見を聴取した。	
市民との協働	有	ネットワーク会議は市民からなる組織であり、十分な連携・協働を心がけている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	審議会(分科会)、ネットワーク会議を通じて市民意見を聴取している。	
関係部署との連携	有	ネットワーク会議の開催にあたっては、関係部署の担当者も出席している。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者や外国人など、配慮が必要な児童・保護者への支援も重点事業とし、総合的・継続的な支援に努めている。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	平成24年度の実績について進行管理票を作成し、かしわ子どもネットワーク会議を開催する。また、今後進めていく子ども・子育て支援新制度における「子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた意見も聴取する。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育て情報誌(かしわこそだてハンドブック)による情報提供	掲載ページ	13
		担当課	児童育成課
		No.	41
事業内容	子育て情報を総合的に把握整理し、ハンドブック等の情報誌の発行により、広く情報を提供していきます。 また、外国人向けに4か国語(英語・中国語・スペイン語・ハングル)のダイジェスト版を作成し、情報提供を行います。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(1)子育ての情報提供	
	中番号	ア 情報誌等を通じた情報提供	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	情報誌(ハンドブック等)、 ホームページ(はぐはぐ柏 等)の充実
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	平成23年度と同様に民間企業との協働で費用をかけずに20,000部を発行した。また、外国語版の発行も行った。		
担当課 自己評価	4	平成23年度同様に、民間企業との協働でコストをかけずに発行できた。	
市民との協働	有	表紙や配布促進用POPのデザインを市民団体に依頼し、協働でPRを行っている。また子育てサイト「はぐはぐ柏」にHTML版ハンドブックの掲載を協働で行った。	
市民アンケート・意見の聴取	有	平成22年度より、柏市子育てサイト「はぐはぐ柏」にて意見募集を開始	
関係部署との連携	有	子ども関係部署に、子育て情報を収集	
障害者・外国人等への配慮	有	外国語版(英語・中国語・スペイン語・ハングル)を作成。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	平成25年度版も、情報の更新をし発行する。引き続き、外国語版の発行も継続して行っていく。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	「マップルプル」等の発行	掲載ページ	13
		担当課	地域健康づくり課
		No.	41
事業内容	身近で手軽な情報紙として、北部・中央・南部の3地域ごとに、地域で行っている子育てサービスを掲載する「マップルプル」をはじめ、母子保健情報紙の内容の充実を図りながら、引き続き発行していきます。 また、母と子のつどい、子育てサロンなど、子育て世代が集う様々な機会での配布や近隣センターへの掲示などにより、情報を広めていきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(1)子育ての情報提供	
	中番号	ア 情報誌等を通じた情報提供	
	小番号	②	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	情報誌の充実
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	各近隣センター等、市内各機関に設置配布のほか、各種母子保健事業において配布を行った。特に、柏市民健康づくり推進員による訪問活動等に妊婦や乳児家庭への配布を行った。また、平成24年度からは、はぐはぐ柏にPDF版を掲載し、配布拡大にインターネットを利用した。毎年掲載内容や構成の検討や情報の更新を行っている。特に、3月に発行する次年度版については、活用できるインターネットサイトの情報を追加した。また、情報別の見出しや各ゾーン版に該当地域を掲載するなど、分かりやすく活用しやすい構成を工夫した。		
担当課 自己評価	4	掲載内容は各機関に問い合わせ、正確な情報発信を行った。また、市民が活用しやすいよう、内容やレイアウトを工夫した。	
市民との協働	有	柏市民健康づくり推進員の地域活動において配布・周知している	
市民アンケート・意見の聴取	無	実施していない	
関係部署との連携	有	子育て支援関係機関などへ情報の掲載と周知の協力依頼をしている	
障害者・外国人等への配慮	無	現在は、日本語のみでの発行である。聴覚障害のある方も利用できるよう問合せ先にFAX番号を掲載	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	平成24年度同様に引き続き発行配布する。なお、随時新情報の追加更新を行い、改訂版として発行する。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育てサポートかしわの発行	掲載ページ	13
		担当課	保育課
		No.	41
事業内容	保育園で行う育児講座や園庭開放の予定のほか、子育てのポイントや遊びなど子育てに役立つ情報を掲載する「子育てサポートかしわ」の内容の充実を図るとともに、より多くの家庭に届くように配布方法・情報提供方法を工夫していきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(1)子育ての情報提供	
	中番号	ア 情報誌等を通じた情報提供	
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	情報誌の充実
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	年3回(5,9,12月)の通常版に加え、H24年保存版をカラーで発行した。保存版には、各市立保育園の園庭開放日を地図と併せて掲載し、利用者にとって見やすいよう工夫を行った。		
担当課 自己評価	4	公立保育園23園で行われる子育て支援事業や子育てノウハウを掲載し、内容の充実を図った。また、配布場所は、子育て親子が収集されやすい場を選び配布した。	
市民との協働	無		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	保育園嘱託医、近隣センター、出張所、児童センター、地域健康づくり課、沼南公民館、子育て支援センターに設置、提供を依頼している。	
障害者・外国人等への配慮	—		
4. 平成25年度の実施内容			
内容	情報誌の内容を、柏市ホームページや子育て支援サイト「はぐはぐ柏」等、インターネットを通じて、より詳細な内容が閲覧できるようにする。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	柏市子育てサイトによる情報提供	掲載ページ	13
		担当課	児童育成課
		No.	41
事業内容	市とNPO法人の協働による柏市子育てサイト「はぐはぐ柏」の充実を図ります。子育て中の親はもちろん、インターネットを利用するすべての市民が子育てに関心を持てるように、より一層役立ち、楽しめるサイトを目指します。そのために、幅広く情報を収集し、常に最新の情報を提供できるよう、メンテナンスを実施するとともに、かしわシティネットや参画eyeなど、他市のサイトとの連携を図ります。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(1)子育ての情報提供	
	中番号	イ インターネットを通じた情報提供	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	ホームページの充実
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	ユーザーが知りたい情報にすぐにたどり着けるように、トップページのインターフェイスのリニューアルを行った。また各課関係機関が発行する情報誌を一覧で閲覧できるページを設け、使いやすさの向上を図った。 サイト開設から4年が経過し、PV数は右肩上がりであり、平成24年度の年間PV数は56万超となった。 今後の課題として、イベント情報の検索機能を強化して使いやすさを向上することと、文字だけでなく写真を使った情報提供を更に推し進めていく。		
担当課 自己評価	4	トップページのリニューアルを行った。	
市民との協働	有	NPO団体と協働で運営している。	
市民アンケート・意見の聴取	有	HP上にアンケートフォームはあるが、具体的な意見はあまりない。	
関係部署との連携	有	子育てに関わる部署と連携を図っている。	
障害者・外国人等への配慮	有	Webアクセシビリティ向上に取り組み、読み上げソフトへの配慮をするなどし、障害者への配慮を行っている。かしわこそだてハンドブックの外国版を掲載している。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	従来のイベント情報カレンダーに条件キーによる絞込み検索機能を追加し、使いやすさを向上させる。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	こんにちは赤ちゃん事業 (乳児家庭全戸訪問事業)	掲載ページ	14
		担当課	地域健康づくり課
		No.	41
事業内容	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭に対し、柏市民健康づくり推進員等が訪問を行います。地域社会と乳児のいる家庭をつなぐ最初の機会となるため、乳児家庭の孤立を防ぎ、母と子のつどいなど、子育て支援事業を紹介し、交流の場につなげていきます。また、様々な不安や悩みを聞き、母子の心身の状況を把握し、必要な家庭へ家庭訪問指導を始め、適切な支援援助提供を行います。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(1)子育ての情報提供	
	中番号	ウ 訪問による情報提供	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	子育て支援事業等で実施
3. 平成24年度の実績等			
実績・課題	柏市民健康づくり推進員訪問対象者の面談率は63%。全対象者の52%が推進員と顔見知りになることができています。また、当事業による全体の面談率及び連絡がとれた件数は77%。全体の約73%のかたに直接会って説明しながら情報提供できた。会えなかった場合には、電話での情報提供や、資料の投函等で対応した。訪問票は全数目を通し、支援の必要性などアセスメントした結果、18件の家庭を早期発見・支援へつなげることができた。(H24.12末現在)		
担当課 自己評価	4	乳児家庭の孤立を防ぐための子育て支援事業情報提供、不安や悩みを聞き、母子の心身の状況を把握、支援の必要性な家庭を早期発見・支援へつなげた	
市民との協働	有	柏市民健康づくり推進員により実施。	
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	・子育てハンドブックに事業内容掲載 ・広報かしわにて、訪問予定生まれ月の掲載(毎月)による周知	
障害者・外国人等への配慮	有	必要に応じ協働推進課等の情報の案内や、保健師が個別支援を行う。	
4. 平成25年度の実施内容			
内容	地域ぐるみの子育て支援として、柏市民健康づくり推進員との協働により実施する。生後4か月までの全ての家庭へ、柏市民健康づくり推進員または看護師が訪問する。推進員による育児に関する不安や悩みの傾聴や相談、子育て支援に関する情報提供、乳児及びその保護者の心身の様子、養育環境の把握を行う。支援が必要な家庭に対しては、地域担当保健師による継続支援へつなげる。		
5. 平成26年度以降の予定(任意)			
内容			